

あなただけのうた

N O T F O R Y O U

女性演奏家の“皮”をめぐりレクチャー・パフォーマンス
いしお

2026.1.31-2.1

場所：京都芸術センター 講堂

主催・作・出演：加藤綾子 共催：京都芸術センター（公益財団法人京都市芸術文化協会）「KACパートナーシップ・プログラム2025」 助成：一般社団法人ビトゥイン・ミュージック・タイズ

ある演奏家の伝記をひらいたとき、そこには、セーラー服姿でヴァイオリンをたずさえ、微笑む少女の姿があった。

かつてわたしの恩師は、欧州で着物を着てチャイコフスキーの協奏曲を弾いた。

数年前、花束を手にほほえむわたしは、大きく膨らんだ、見るからに重たそうなドレスを纏っていた。

「やわらかな皮一枚と
冷え切った外側の
こすれる音を聞いた」。

いわゆる“クラシック音楽の演奏家”——それも、女性の身体が纏う姿を思い浮かべたとき、人はどんな形を想像するのだろうか？

検索結果と現実とのあまりの隔たりに、あきれて笑っちゃいながら、わたしは腋のざわめきをキープする。

いま、わたしたちはスニーカーでコンサートホールを駆け回ることだってできるのです。

【公演日時】

2026

I/3I(土) I4時

2/I(日) I4時

全2回公演

各回50分程度を予定

開演30分前より開場

*1/31(土)は記録撮影有り

【スタッフ】

音響：齋藤 悠麻

照明：射場 愛

舞台協力：岡本 唯

制作協力：小栗 舞花

スチル撮影：中谷 利明

記録映像：Nishi Junnosuke

【トーク・ゲスト】



© Ayano Sudo

山根 明季子

(作曲家／アーティスト)

*2/1(日)のみ登壇

加藤綾子

主催・作・出演

ヴァイオリニスト。日本やアジア圏における“クラシック音楽的な身体”を通して、人々の振る舞いの現在地を探る。洗足学園音楽大学および同大学院弦楽器コースを首席卒業(修了)。ベルギー・ナミュールの音楽院「IMEP」修士課程を、学年最高得点にて修了。これまでの主な作品に、リサイタル「形式を呼吸する」、パフォーマンス「ヴァイオリニストによる(メタ)フィクション」(2025/豊岡演劇祭フリンジ・ショーケース参加作品)「アイム・ミート!」(2025/金沢21世紀美術館 芸術交流共催事業「&21+」)など。2025年、KAAT「カイハツ」、舞台芸術専門家派遣事業バンコク派遣アーティストに採択。

写真：前澤秀登

プレイガイド

一般 ¥2,500 / 25歳以下 ¥1,000

ワークショップ参加費 ¥500 *未就学児 入場不可



パフォーマンス中、肌の露出を伴う着替え・剃毛などの表現があります。

Teket (電子チケット)

<https://teket.jp/10243/59987>

メール予約・お問い合わせ

ayakokatoviolin@gmail.com (加藤綾子宛)



Teket



特設サイト

ワークショップ

プチ・ワークショップ
ヴァイオリニストになる方法

舞台袖からステージ入退場、そして演奏……

“クラシック音楽的”な振る舞いや動作を通じて、楽器を持たずにヴァイオリニストの身体を体験してみるワークショップ。

ドレスを引きずる身体、パンツスタイルで歩く身体、いろんなヴァイオリニストを体験してみましょう。

I/3I(土)
I5時

参加費 ¥500
30分程度を予定



京都芸術センター 講堂

〒604-8156

京都市中京区室町通

蛸薬師下る山伏山町546-2

- ・地下鉄烏丸線「四条駅」より徒歩5分
- ・阪急京都線「烏丸駅」より徒歩5分
- ・地下鉄東西線「烏丸御池駅」より徒歩10分
- ・市バス「四条烏丸駅」より徒歩5分